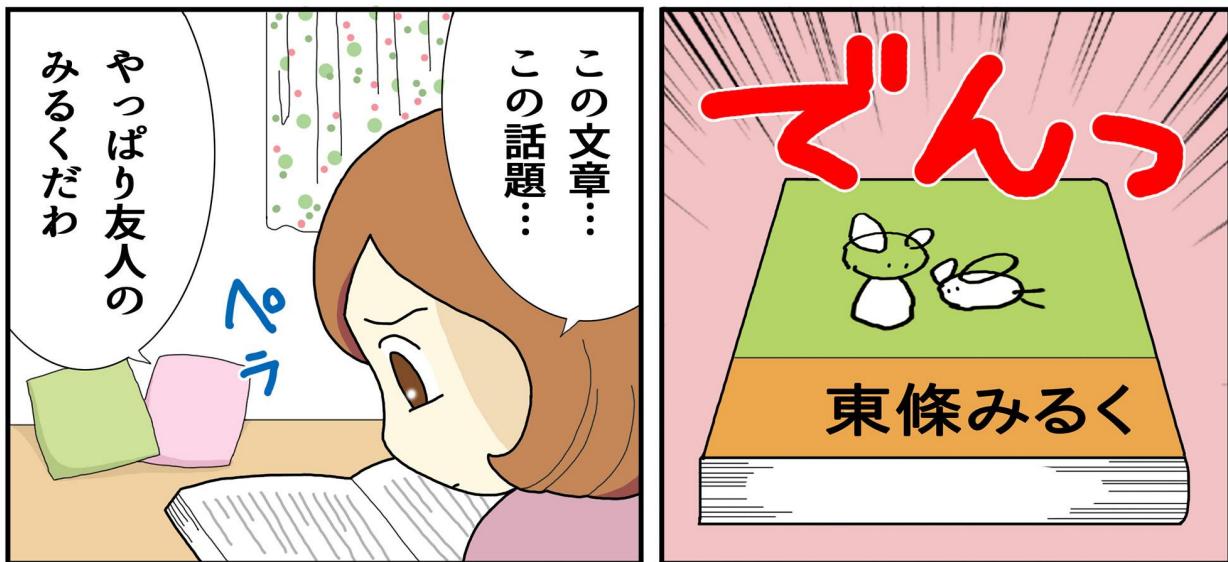
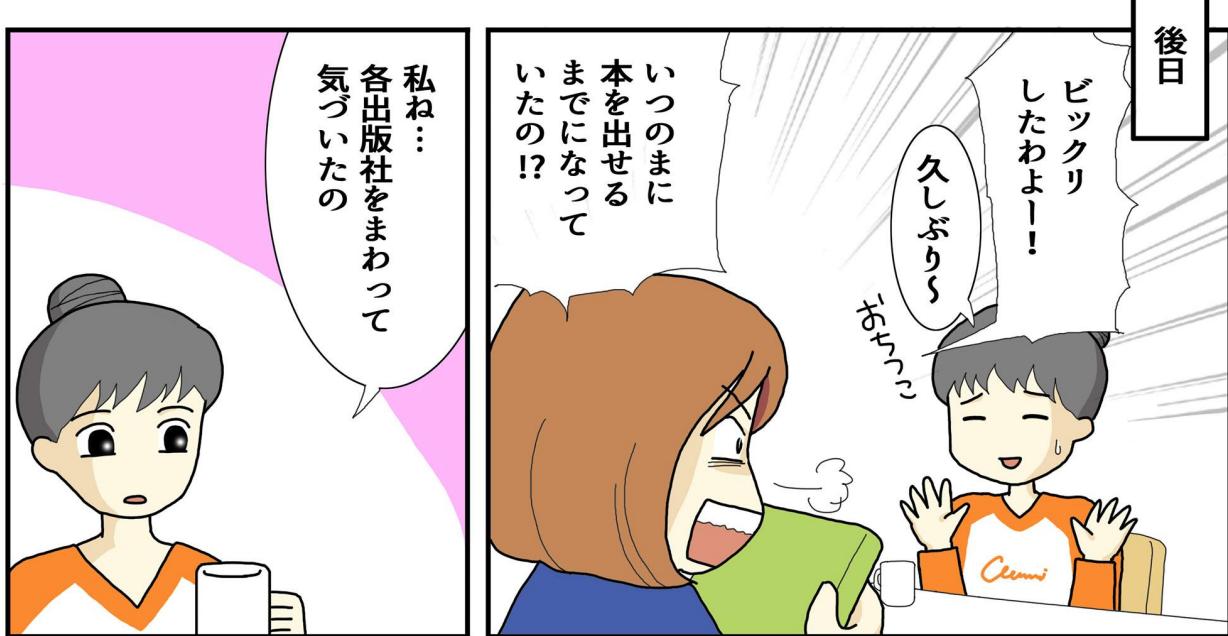


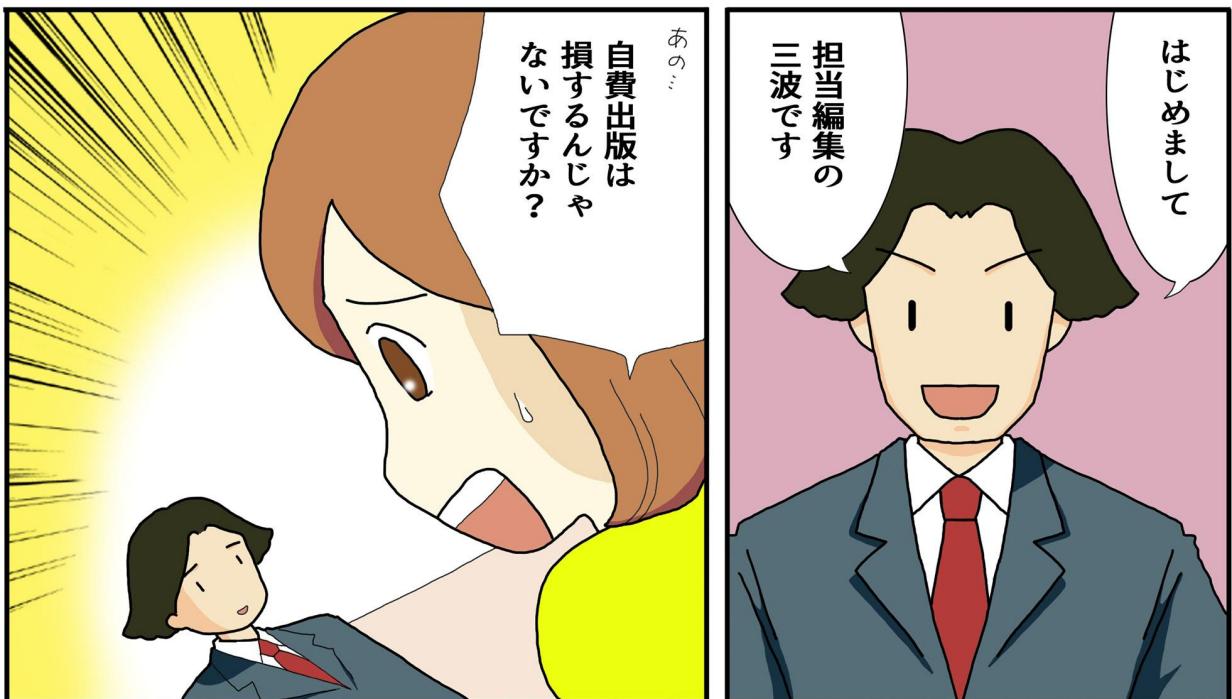
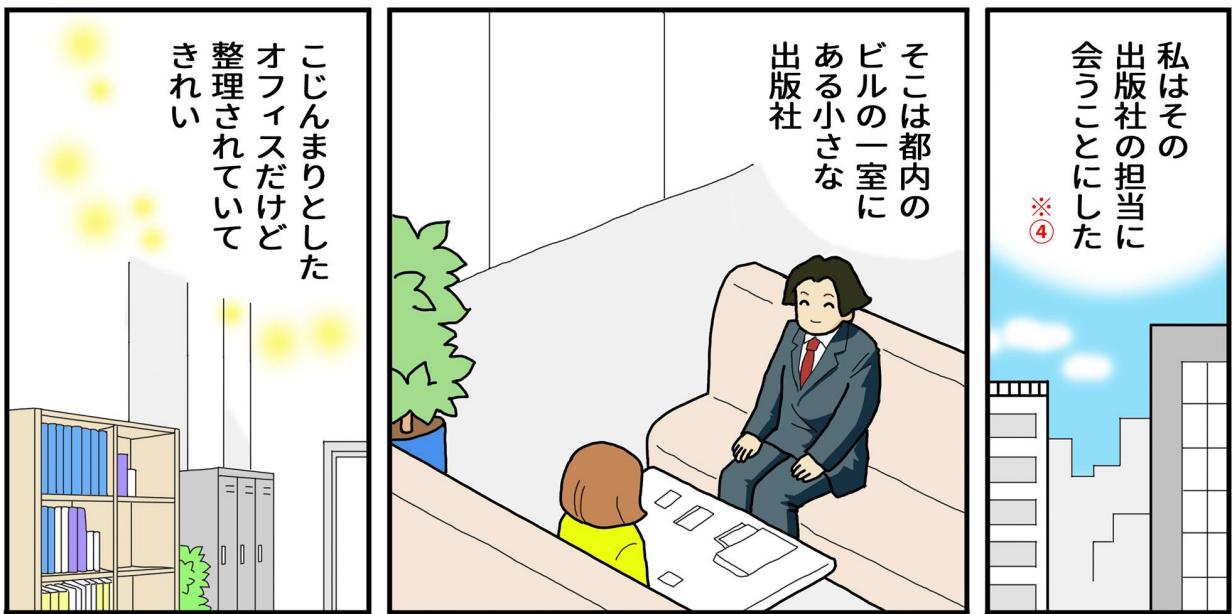
※① 原稿は持ち込みがいちばん確実です。郵送では封を開けられず、目に止まらないことも……

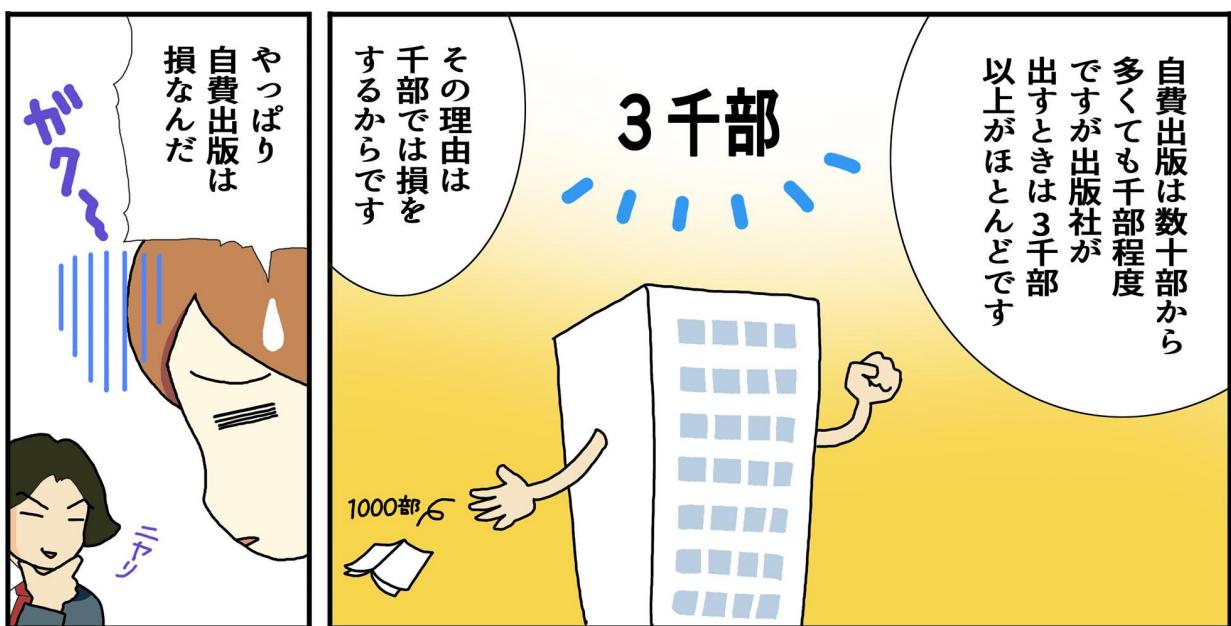
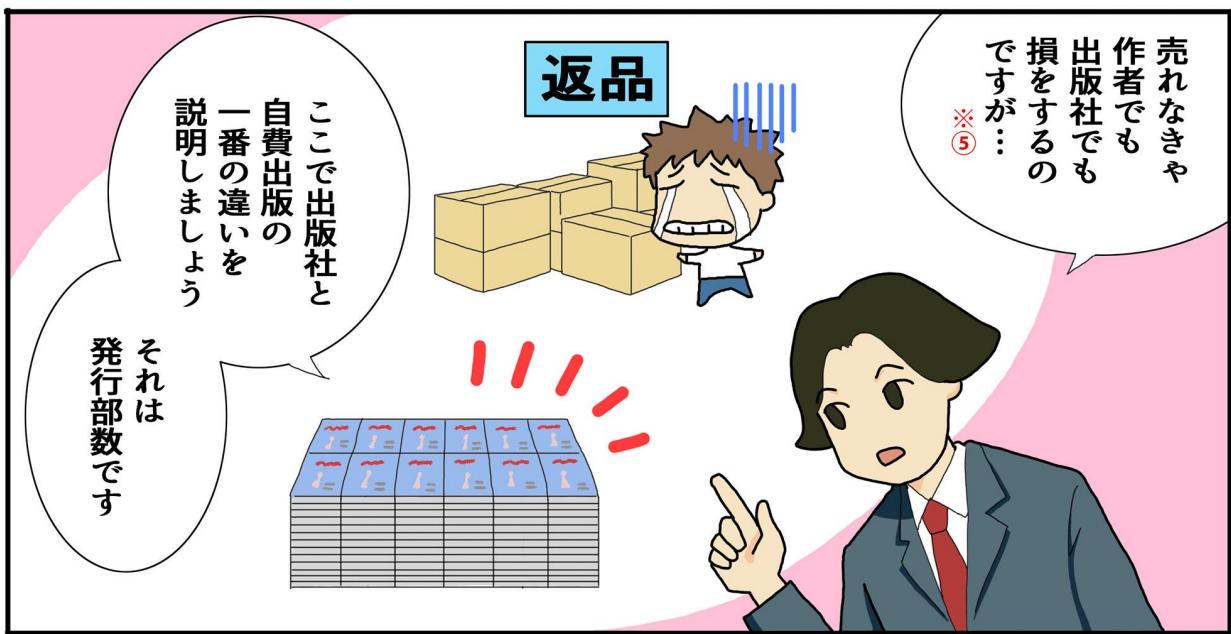
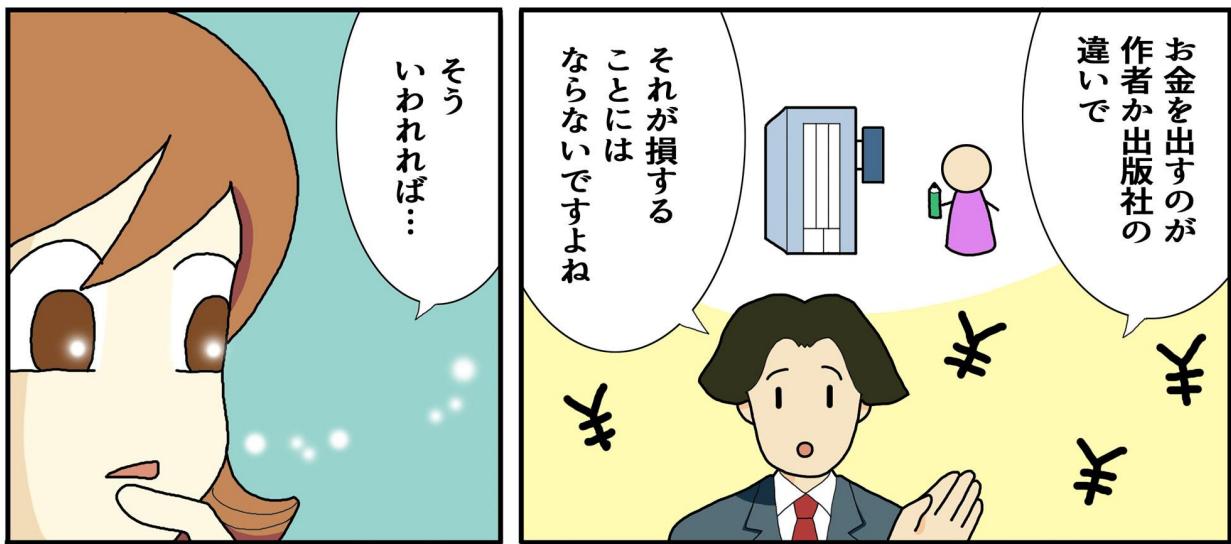




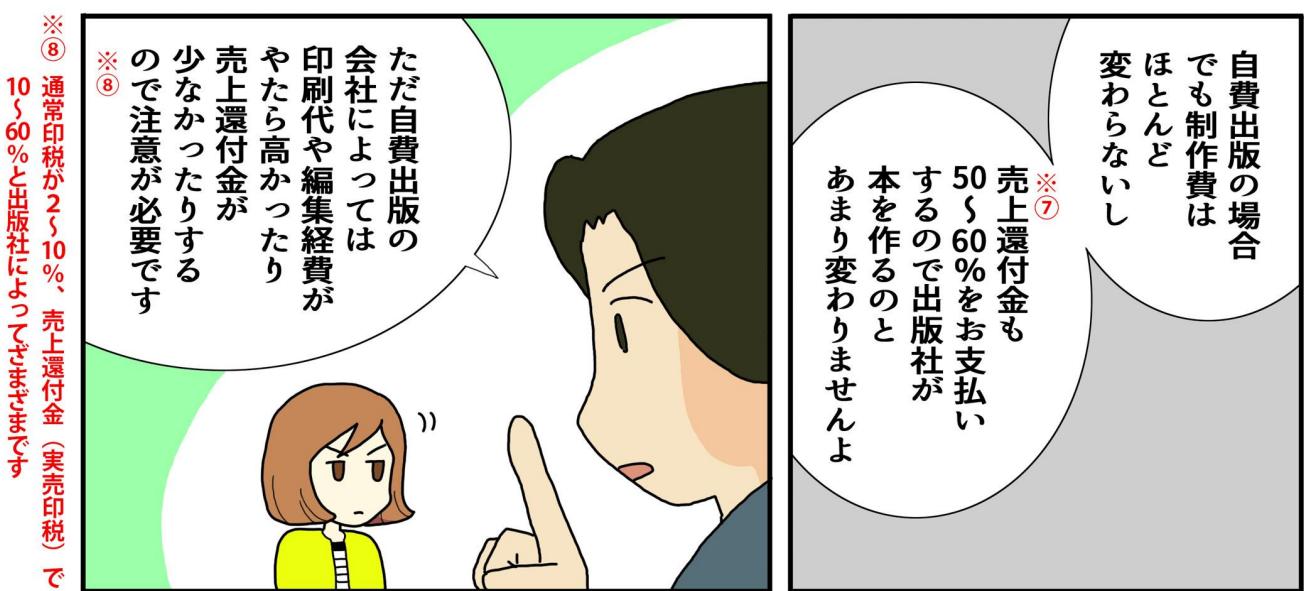
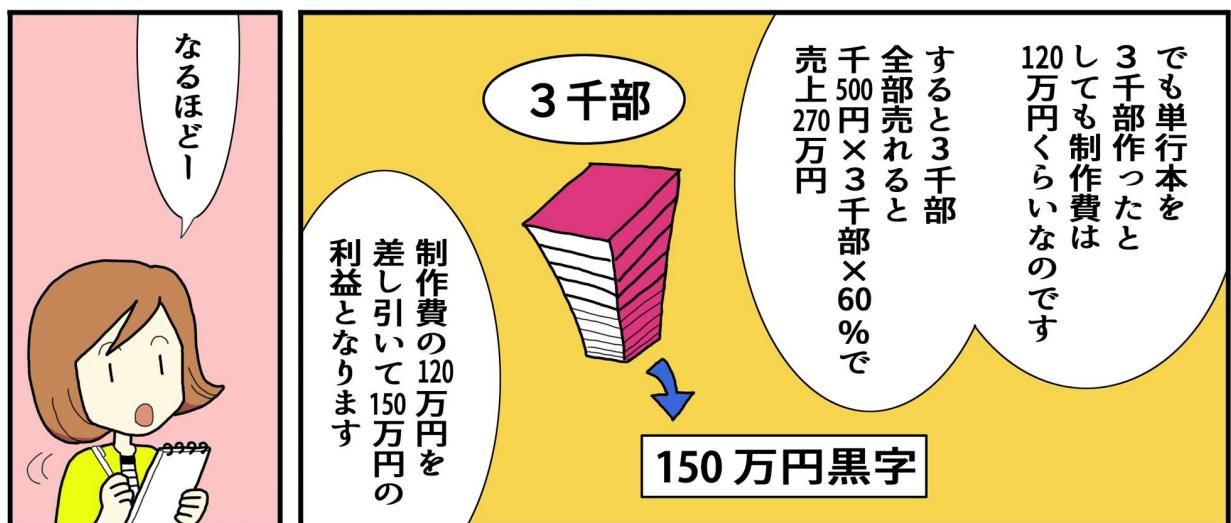
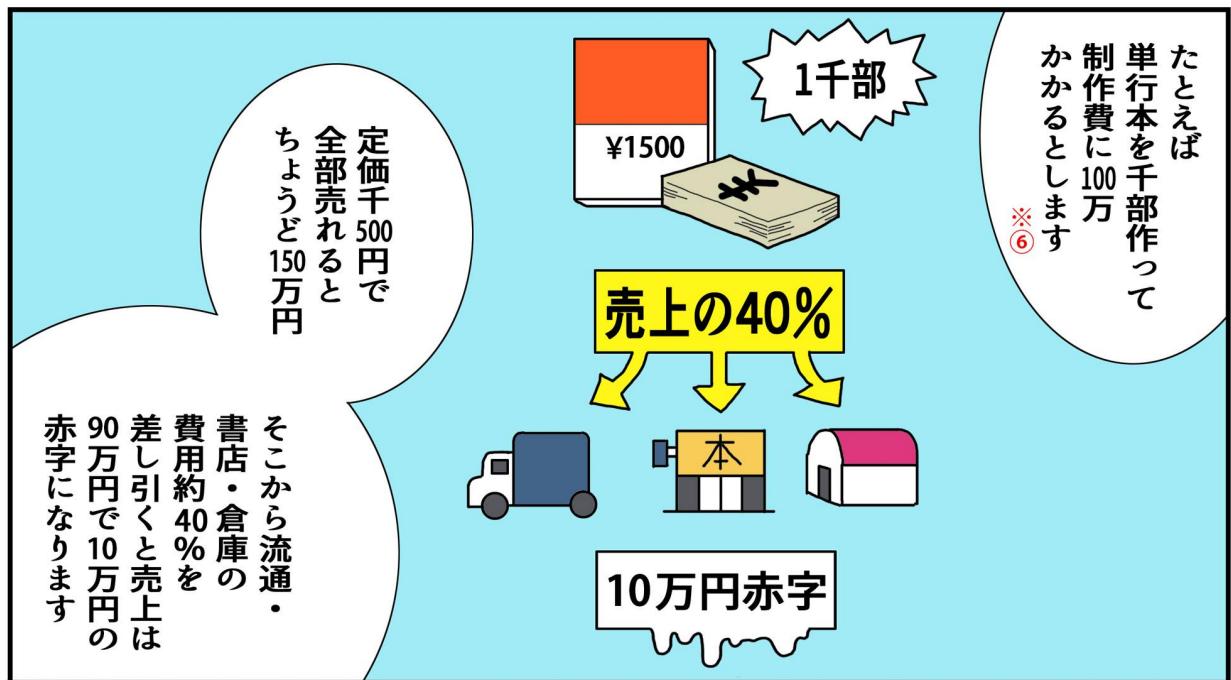


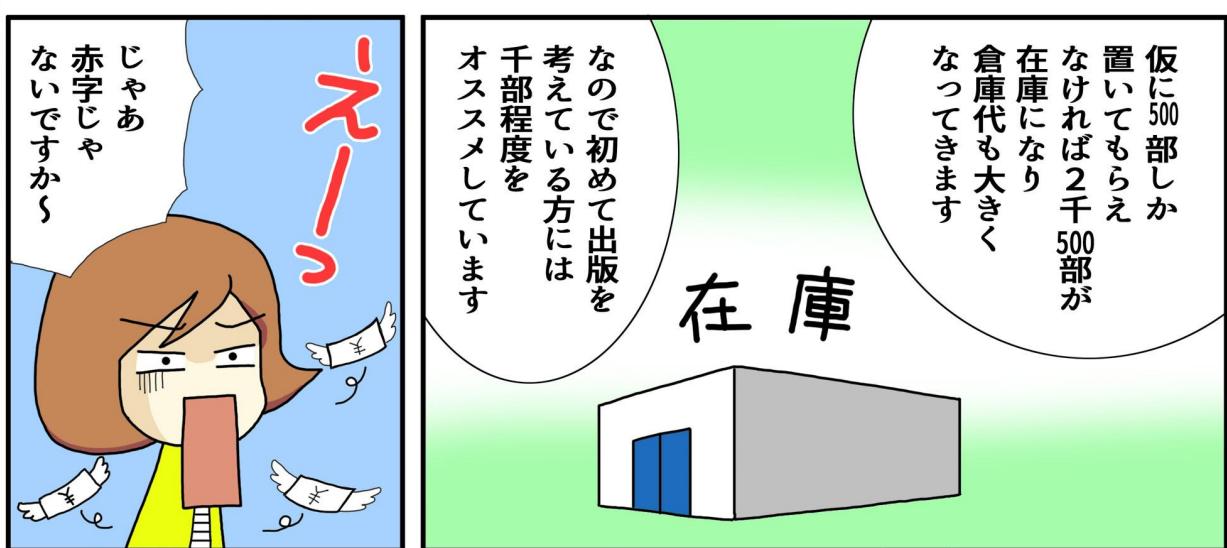
※④ 出版相談は何社か回って自分に合ったところを探しましょう。また、作品や企画書、本の装丁、ページ数など希望をまとめておくと話がスムーズです

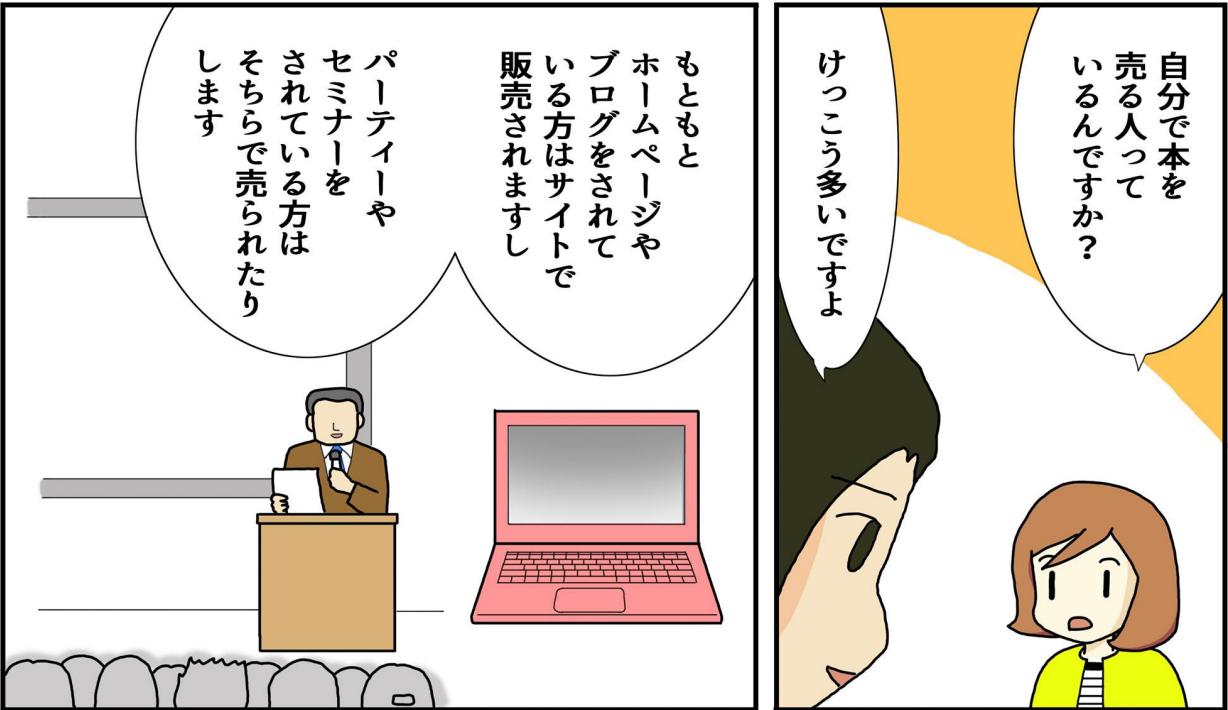




※⑥ 自費出版の製作費は出版社によって大きく異なります。
千部ほどで百万円くらいから、高いところだと1千万円
近くかかったという話も聞きます







※(13) 増刷分からは通常印税方式が、売上還付金方式が選べます。通常印税の場合は費用はすべて出版社がもち、売上還付金のときは著者が費用をもちます。また、印税方式を選べない出

※(12) 増刷は出版社と著者で話し合って決めます。出版社によって決定の実売率は違います。

